



子供にさせる家事 ～思いやりや「生きる力」を育む～

2度にわたる学校の臨時休業が終わりました。今後も決して油断することはできませんが、「早寝・早起き・朝ごはん」など規則正しい生活を基本にして、新型コロナウイルスの感染症防止はもとより、事故やけが・病気をすることなく過ごしてほしいものです。

休業中の子供たちの生活はいかがだったでしょうか。家庭で過ごすことが多くなり、家族の一員としてお手伝いに取り組む子供もたくさんいたことと思います。お手伝いなどの良い習慣はこれからも続けて欲しいものです。

さて、私が教員になって10年ほどたった頃（1990年代の半ば）「見える学力・見えない学力」という考えを唱えられた岸本裕史先生の著書に出会い、自分自身を痛烈に反省し、PTAなどでも盛んに話したことを覚えております……。

かつて神戸市の小学校教諭として、基礎学力の成り立ち・向上と成長する力、意欲の結びつきを实践・研究の両面から解明し、「見える学力、見えない学力」という斬新な学力観を提唱した岸本裕史先生は、「学力を伸ばすための3つの秘訣」など多くの著書を著されています。岸本先生は、ご自身の著書の中で次のように述べています。

小鳥の世話、庭のはきそうじ、はきものの整頓、洗濯物の取り入れ、箸や食器ならべ、祖父母の肩もみなど、どの家でもやっている仕事の一端を毎日継続して担わせるのがよいのです。親子がいっしょになって、仕事を手順よく、おしまいまできちんとやりとおすことを習慣化しておけば、子供は必ず粘り強い子になっていきます。親の苦勞の分かるやさしい子になります。……。

家事労働をやっている子の中で、忘れ物をしたり、根気が続かなかつたり、だらしないことをしたりする子は、ほとんど見かけません。しっかりした子、勉強や仕事に進んで取り組む子に育てるためには、幼い頃から仕事に喜んで取り組むように仕向けていくことです。

子供の人格や能力を高めるために、仕事をあてがうことは、とても有効な家庭教育となるのです。

(岸本 裕史著「見えない学力みーつけた」より)

「お手伝いをする」ということは、「家の中に自分の役割や居場所がある」ということ。役割や居場所があると、子供は「必要とされている」と感じ、自然に自己肯定感が高まっていきます。

最近の子供たちは、「遊ばず・学ばず・手伝わず」と言われることもあります。

今回の臨時休業は、子供が家事労働を継続してやり通すことを見直す絶好の機会であったのではないのでしょうか。

これからも子供たちに仕事を担わせることを柱にすえて、根気や粘り強さ、心身ともにたくましく「生きる力」を培いたいものです。

絵画・陶芸教室



5月11日（月）、本校の元校長先生、S先生による、5・6年生の絵画教室がありました。過去の優秀な作品を紹介した後、下書きをするときのポイントを指導していただきました。児童からは「教えてもらったことを活用して自分らしく楽しんで描けるようにがんばります。」との声がありました。

5月15日（金）、K先生による陶芸教室が行われました。「靴」や「帽子」、「鞆」の陶器を作るグループに分かれると、子供たちは、想像力を発揮して、ユニークな作品を作り上げていきました。

子供たちは、外部講師による授業を楽しみにしており、のびのびと活動に取り組んでいました。講師の先生方ありがとうございました。



「絵画教室」



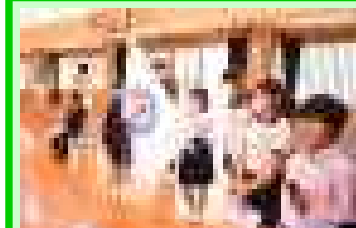
「陶芸教室」

1年生を迎える会

5月15日（金）1年生を迎える会がありました。1年生は自己紹介の後、6年生手作りのペンダントをもらって、とても喜んでいました。



「1人1人、自己紹介ができました」



「総務委員会の進行の様子」

5月8日（金）青少年赤十字の登録式がありました。全児童で誓いの言葉を読み上げました。



「屋外掲示板から中学校へ避難」

5月12日（火）地震・津波を想定し、吉田北中学校の屋上に避難しました。

6月

主な学校行事

7月

- 3日（水）プール開き
- 4日（木）歯科検診
- 5日（金）人権集会 租税教室
- 9日（火）歯科衛生指導（～11日）
- 12日（金）クラブ活動
- 13日（土）土曜授業 田植え
- 17日（水）眼科検診
- 22日（月）暗唱チャレンジ週間（～26日）
家庭教育学級開級式
AED講習会 学校保健委員会

- 1日（水）七夕集会
- 3日（金）水泳発表会、学級PTA
- 9日（木）着衣水泳
- 13日（月）開校記念日
- 14日（火）留学生との交流
- 20日（月）終業式 大掃除
- 21日（火）夏期休業期間（～8月31日）
水泳教室（22日・28日）

※ 変更することがございます。御了承ください。